

ミニ かもめ

小樽支部長 萩原 正子

平成 29 年度小樽支部では、5 月 13 日（土）にウイングベイ小樽で「看護の日、看護週間」を開催し多くの市民の皆様に参加していただきました。健康相談、血圧・体脂肪測定、妊婦体験、ミニ看護師さん体験等の企画をしましたが、中でも看護服を着て記念写真が行える「ミニ看護師さん記念撮影」では、たくさんの親子連れに参加していただき、にぎわっていました。5 月には、小樽市内の各施設で、高校生を対象に「ふれあい看護体験」を行いました。看護師や他医療系を目指す高校生が各施設で血圧測定や食事の介助、臨床検査室の見学などを行い看護師の仕事に触れてもらうことができました。

貴重な体験をした参加者の感想文を掲載させていただきます。

「ふれあい看護体験」 小樽桜陽高校 若林 穂乃歌

私は、今回初めて「ふれあい看護体験」に参加させていただきました。

病院では、臨床検査室で採血したものを機械にかけたり、リハビリテーションセンターで退院の近い患者さんのリハビリなどを見学しました。

見学をしながら、病院は医師や看護師だけでなく患者さんの体調を管理する栄養士やリハビリを行う作業療法士、理学療法士、他にも放射線技師など様々な職種の人達が力を合わせ、患者さん一人一人に向き合っているということを改めて実感しました。

私もいつか、一人の看護師として患者さんと向き合い、患者さんやご家族を笑顔にできるような人材になりたいと、この体験を通して思いました。同時に、今できることを精一杯頑張りたいと思いました。

今回お招き頂いた済生会小樽病院スタッフのみなさん、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



☆ミニ看護師さん☆



☆看護の日風景☆

当支部では、協会組織の強化のため「地域包括ケア構築に向けた連携」としての看護管理者談会を企画しております。

日々変化する医療現場に対応できるよう「終末期における意思決定・支援 臨床と在宅面から」

「緩和ケア」といった研修会を企画し、会員皆様の学習の場や交流の場の提供しております。また、市民の皆様にも看護の仕事を知って頂くために、「看護の日」のイベントの企画や「後志いきいき健康祭り」への協賛をしております。